




## ○ 建築基礎


残暑お見舞い申し上げます。医療事務ビジネス科の皆さんは今各事業所で実習中です。立秋が過ぎ、一時期前の猛暑と比べると幾分かは過ごしやすくなってきたように感じますが、まだまだ残暑が厳しそうです。皆様のご健康を祈念いたします。

さて、お盆明けの17日(木)に建築基礎技能習得コースの開校式が行われ、4か月の座学と実技研修が始まりました。医療事務ビジネス科は女性ばかりでしたが、今回は男性ばかりです。性別で募集を分けているわけではありませんが、たまたまそうになりました。今回も期間が限られていますので講義はスケジュール等が詰まっているかもしれませんが、がんばってほしいと思っています。また、実技研修は野外作業です。熱中症にならぬよう温度の変化に体を慣らすことも学びのうちの一つとなりそうです。建築に関連して以前発行した KOCHO だよりを次に紹介してみます。



平成28年(2016年)3月8日

KOCHO だより 59 岩国市立米川小学校 須内



### ○ ものづくりⅣ

話題がいろいろな方向に進んでいきそうです。今回は鉄筋屋さんのことです。

私は教員として就職する前にアルバイトで鉄筋工として2年間働いていました。親方と弟子(?) 2~3人くらいのチームで、学校くらいの大きさの建物の工事現場2~3箇所を駆けもちでやっていました。この仕事の話があったとき、「身体の小さい自分につとまるだろうか。」という不安がありました。しかし実際には小さいから役に立つこともたくさんありました。(狭い場所の作業とか)とはいえ、鉄筋はパイプではなく芯まで鉄がつまっています。見た目よりはかなり重いです。作業に身体が慣れるまで1~2ヶ月かかりました。

この2年間でたくさんのことを学びました。仕事の厳しさ、働くことのやり甲斐、安全への配慮、チームワーク、稼ぐ喜び、現在のこと将来のことなど。印象に残っていることの内の一つは「仕事の段取り」というものです。決まっている工事期間で完成させること、身体をこわさない(けがをしない)ことが大切です。二度手間にならないよう、能率よく作業をするためには、材料を積む順番や適切な手順を決めておかなければなりません。「段取り」は大切。

また、正しい技術やコツを身につけないで、力任せの作業などを長年続けているとどこかにひずみが生じます。一つ例を挙げてみます。今自分を振り返ってみて「失敗したな。」と思うことがあります。「柔道をしているとき、右ばかりでなく左投げも練習しておけばよかった。」「鉄筋を担ぐとき、左右担ぎ分けるようにしておけばよかった。」ということです。2~3年に1回位ギックリ腰になってしまうのはそのあたりが原因かもしれないと思うのです。

## 自画自賛 ..... 瀬戸内タイムス掲載

先日地元光市の新聞社である「瀬戸内タイムス」さんに、この KOCHO だより関連の取材を受けました。このたびその内容を9日(水)号に掲載していただきました。

「まさか、1面!」という感じでびっくりしてしまい、同時に恐縮してしまいました。また、あの雑談(取材)の中身を限られた紙面に見事にまとめられた文章を読むと、さすがはプロだなと感心してしまいました。

5面にはおっぴまつりの記事があり、本校の遊びコーナーの状況も写真付きで紹介していただきました。

KOCHO だよりは不定期発行なので気楽なものですが、新聞の定期発行にはいろいろな苦労があるだろうということも改めて思いました。

